

エリアとくらし

第17号 2014年4月

発行：社会福祉法人

時津町手をつなぐ育成会

西彼杵郡時津町西時津郷 1156

TEL：095-882-7585

<http://www.togitsu-ikuseikai.jp>

交流芸能祭

2/23(日)

とぎつカナリーホール



メンバー総出演の
はじけるダンス★

学生っぽく
熱演！



今年も長崎市と西彼杵郡にある事業所が集まって、物販や出演をする交流芸能祭へ参加しました。

今回の演目は、『学園エリア』！

ナレーションから始まり、寸劇、『学園天国』のダンス、そして寸劇を入れ、『輪になって踊ろう』の歌とダンスという、ミュージカル風？の演目に挑戦してみました。

みんなで意見を出し合い、歌とダンスと劇になったのですが、さすがに自分たちのアイディアという事もあり、練習中も向上のための意見が出たり、寸劇では各々のアドリブも入り、みんな大満足の出来になったようです。

ただ、終わった後はもう来年の話になっていましたが・・・(笑)

怪我もなく笑顔の多い一日になりました。みんな、やりましたね！！(武)

民児協研修会で講話～村島さん親子～

2/7(金)

東部コミュニティセンター

平成25年度西彼民生委員児童委員協議会委員研修会が開催され、会員の村島義仁さんと利用者の村島久典さんが「エリア21を利用して思う事」というテーマで発表されました。

久典さんの素直な気持ちがつづられたお話に、会場では涙ぐむ方や、「感動しました」と声をかけてくださる方もいらっしゃいました。内容をご紹介します。(杉)

ぼくは、三人兄弟の二男としてうまれました。家族は五人家族でした。でも、六年前の夏に、お母さんは、ぼくたちを残して、あの世に行ってしまいました。とてもかなしかったです。

それからは、ぼくと、お父さんの二人での生活が始まりました。お父さんが仕事に出かけるとぼくは一人ですばんでした。テレビをみたり、ランプをしたり、ラジカセで歌を聞いたりしてすごしました。とてもさみしかったです。

ある日、「エリア21」を、ある人からしょうかいされ、見学に行きました。学生時代の友だちや友だちのお母さんがいました。なつかしかったし、うれしかったです。ぼくは、ここに行きたいと思いました。

「エリア21」に行くようになってからは、多くの友だちと「帽子づくり」や「弁当」の配達、回収をしたり、時には、畑に行き芋ほりをしたり、あるいは、「花見」や「運動会」「文化祭」「クリスマス会」「交流芸能祭」など、たくさんの行事に参加して、毎日がとても楽しいです。

これからも、もっともっと、みんなと仲よくして楽しく活動したいと思います。





クリスマス会

12/14 エリア21



この日、クリスマス会が盛大に開催されました。「地域の方にもご参加を」ということで、民生委員の方々もお招きし、二胡の素敵な演奏を披露していただきました。



また、今年もキャロット劇団さんに、利用者さん参加型の楽しい人形劇をしていただきました。

豪華？景品争奪のビンゴゲームも行われ、はじめの頃は穏やかな雰囲気だったのが、ビンゴが成立していない人の数が全体の半分ぐらいになった頃から、段々と会場の雰囲気が殺気立ってきて……いえいえ、終始和やかな空気の中、大盛況の内に終わりました♪。

最後は保護者のみなさんに作っていただいた、美味しい素敵なクリスマスケーキをいただいてお開きとなりました。ご協力いただきましたみなさま、本当にありがとうございました。(古)

第14回 長崎県障害者芸術祭

12/15 (日) 諫早文化会館

障害者の文化・芸術活動を通して障がいのない人と交流し、理解を広げるとともに、参加者の自信と生きる活力を創り出すことを目的として毎年各地で開催されています。



細かな模様が美しいさをり織
(坂本さん)

合唱や楽器演奏、演舞の発表のほか、芸術活動の展示発表もあり、県内各地から作品が寄せられます。



カラフルで可愛い折り紙アート
(吉本さん)

今年度は、当法人から坂本明日香さん、吉本智沙さんが出品されました。

どちらも素晴らしい作品で、会場を訪れた人々を魅了していました。(杉)

～研修会内容～

- ① 「新しい福祉に備える権利擁護は 育成会が取り組む課題は」
講師：全日本手をつなぐ育成会 常務理事 田中正博氏
- ② 「障害のある方のライフプラン」
講師：ぜんち共済株式会社 富岡竜一氏
- ③ 行政説明「長崎県の福祉施策」
講師：県障害福祉課 課長補佐 小松誠一氏 自立支援班 山口拓哉氏
- ④ 「なんでん かん でん できんでよか！！ 一私には 私なりに生きる力がある」
講師：長崎玉成高校 校長 鬼塚謹吉氏

***** 参加された方の報告と感想 ～会員・吉本さん～ *****

今回初めて夫婦で参加させていただきましたが、特に印象に残った点をお伝えします。
講演③の中で、現行では介護を必要とするもの(ケアホーム)と介護を必要としないもの(グループホーム)に区分されていたのが、26年度からは一元化され、混在して利用が可能となったとのこと。これにより、利用者のこれまでとは違った個々のニーズに対応した介護サービスが期待できるのではないだろうかと考えました。

また、午後からの講演では、長崎玉成高校の鬼塚校長先生のお話を伺う事ができました。

県内のあらゆる学校に勤務され、永年の教師生活の中から、いろんな特性、特徴を持つ子ども達を見てきた先生が、常日頃から必要性を感じていたのは「その子の特性を生かした教育、指導」。強いて言えば「なんでん かん でん できんでよか」。自分にできる範囲内で、その子の特性や能力にあったことができるような教育指導が必要だということです。このように、就労の場でも生かしていけるようなシステムづくりの必要性を感じた研修会でした。



長崎県手をつなぐ育成会

役員研修会

2月14日(金) 道ノ尾病院 みちのおホール

とぎつ産業まつり

11/10 (日)

障害者週間展示販売

12/4 (水)

昨年は雨のため、とぎつ夏まつりが中止になりました。みなさんからご協力いただいた献品や、仕入れていたスーパーボールやヨーヨーを販売しようと、産業まつりに参加しました。

当日は肌寒い曇天で、人出もあまり多くありませんでしたが、38,750 円を売り上げることができました。お手伝いくださったみなさま、ありがとうございます。

また、時津町役場で開催された障害者週間ロビー展には、エリア 21 農園産のサツマイモと作業製品の刺し子布巾、クリスマスカードを販売し、6,900 円の売り上げになりました。売り上げも大切ですが、町内に事業所があり、みなさんが作業を頑張っていることを多くの方に知っていただける良い機会になったことでしょう(*^_^*)

新成人を祝う会

1/6 (月)

育成会新年会

1/18 (土)

今年は白石麻貴さん、安野友里さんが成人式を迎えられました。残念ながら白石さんは体調不良のため欠席でしたが、年明け早々、エリア 21 のみんなでお祝いをしました。今春は新卒の後輩だけでも 4 人も入ってきましたので、良い先輩として、さらに頑張ってくださいね。



会員と家族での新年会を住吉の割烹たなかで開催しました。

子どもたちのカラオケ合戦では踊り出す子もいて、保護者同士の親睦も深まり、とても楽しいひと時を過ごしました。



第62回

全日本手をつなぐ育成会

全国大会

11/9 (土) ~ 10 (日)

大分県別府市



当法人からの参加者は7名、今回は九州大会と全国大会の合同で行われました。私は分科会で『働く』に参加、自分らしく生きるために働く、北九州手をつなぐ育成会の取り組みの報告や、アートとして、独創的な陶芸の作品、障がい者が描いたTシャツの紹介などがありました。『老いる』の分科会では本人の高齢化や親亡き後を考えた自立構築の話があったそうです。

交流会ではその時の提言者の方とお話ししました。親亡き後を兄弟の立場で支えるお話が聞けて良かったです。とても多くの育成会会員の方々とのお会いがあり、素晴らしい大会であったと思います。(辻)

施設見学会

11/12 (火) 佐世保市手をつなぐ育成会

今年の見学会先は、グループホームや多機能型事業所が複数あり、歴史ある佐世保市手をつなぐ育成会になりました。施設だけでなく、会員活動や育成会運営などの現状も学ばせていただこうと、職員さんも含め 18 名が参加しました。(バスをお安く手配して下さった坂本さん、ありがとうございました)

はじめはケアホーム「ゆめ」へ。市街地の中、元住宅兼歯科医院を改造した1棟、またその奥に新築の2棟目があり、どちらもキレイで収納場所なども工夫してありました。

会員からの多くの質問に、管理責任者の泊さんに答えていただきましたが、時間がなく尋ねきれなかった質問は後日回答していただくことに。

次に、動物園「森きらら」横の「であいの家」へ。まずは事業所内の食堂で、やはり育成会の事業所で作られている、安価なのに品数も多く美味なお弁当をいただきました。その後、園内作業を見学。清掃作業だけでなく、動物のフンをたい肥に加えた園芸用の土づくりなどもしておられ、一般のお客様に働きぶりを見てもらう機会も多いようでした。作業製品も見せていただき、可愛い木工やおいしいクッキーなど、みなさんその場でお買い上げ。また、利用者さんの余暇活動も保護者会員で支えるなど、育成会活動の内容もお伺いすることができました。とても充実していたので、もう少し時間があつたら…と欲の出た見学会でした。(質疑応答は次ページに→)



施設見学会での質問より

～回答：ケアホーム「ゆめ」
管理者・泊さん～

Q.ホームの利用者が体調不良などで日中活動先に行けない場合、見守ってもらえますか。

また通院の必要がある場合はどうなりますか？

A.複数いる世話人が事務職等も兼務しているので、交代で見守りに入ります。その場合、昼食はお弁当を買いに行ったり、手軽なレトルト食を利用したりします。通院の必要がある場合はもちろん付き添って受診できるようにしています。

Q.現在ホームを利用されている方が 65 歳以上になった際、障害福祉サービスを受けながら介護保険サービスを使う事は可能ですか？

A.「ひかりホーム」に 65 歳以上の方がいらっしゃいます。原則的に介護保険サービスが優先されますが、障害者固有のサービス、つまり介護保険の保険給付にはないサービスや介護保険だけでは対応できないサービスについては、引き続き障害者施策からのサービスを利用しても差し支えないとの事でした。その方は現在も当法人のケアホームはもちろん、昼間は生活介護の事業所を利用されていらっしゃいます。

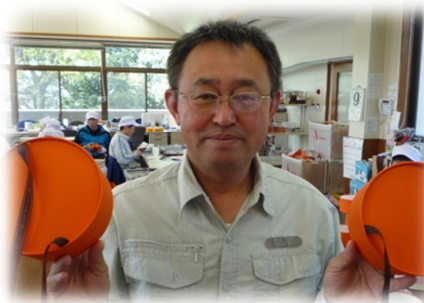
Q.たとえば、GHを使用しながら介護保険のデイサービス、居宅サービスの利用は可能ですか？

A.佐世保市の回答では出来るという事です。ただ、GHを使用しながら介護保険のデイサービスを受けるという方をあまり聞いた事ありませんし、生活介護と介護保険のデイサービス（日中系のサービス）の併用はNGだそうです。

そのほか、ホームでの食事の内容や量、洗濯物の乾燥対策、職員さんのシフトなどたくさんの具体例をお伺いすることができました。佐世保市手をつなぐ育成会のみなさま、ありがとうございました。

新 職 員 さ ん ご 紹 介

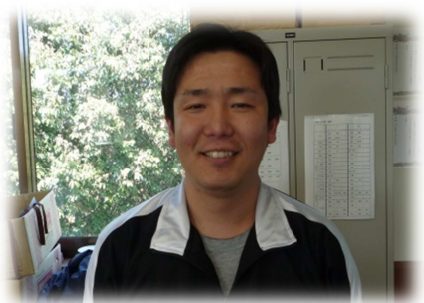
～みなさんどうぞ
よろしくおねがいします～



山科 英貴（やましな ひでき）さん *次長さんです

4月から勤務しています。

自分で何ができるかと考えながら、利用者の方々と楽しく就業していきたいと思います。地域に密着し、充実した施設を目指すお手伝いに少しでも寄与できるよう精進していきたいと思います。今後ともよろしくお願い致します。



田中 紹陳（たなか あきむね）さん *支援員さんです

先月から、こころ医療福祉専門学校より来ました！まだまだ勉強不足ですが、これからガンバっていきますので、よろしくお願い致します。



入口 涼子（いりぐち りょうこ）さん *ホールスタッフさんです

1月より、レストランのホール係としてお世話になっております。職員駐車場からの登り坂で鍛えられて、体力はついてきましたが、仕事はまだまだ慣れないことが多いです。

レストランに来られたお客様に「また来たいね！」と言ってもらえるお店にしていけるように頑張ります。よろしくお願い致します。